

1992年4月  
(平成4年)  
第10号

# 姉妹都市協会ニュース

発行／中津川市姉妹都市  
友好推進協会

中津川市かやの木町2-1  
中津川市役所秘書課内  
0573(66)-1111 内線307

## ようこそ中津川へ



- ①盛大な歓迎を受けるブラジルの少年少女
- ②さっそく世話するホストファミリーのみなさん
- ③スポーツで堅い友情を結ぶ日伯の少年たち
- ④楽しさいっぱいのキャンプファイア

### ブラジルから少年少女 訪日使節団が来市

昨年七月十日から十二日までの三日間、実際の日本を見て国際親善を深めようと、日本語普及センターの国際部部長の鈴木武氏を団長とする中高校生ら三十五名が来市し、市内の中学生たちとの交歓を通じて、日伯の友好のさざなを深めました。

一行は、サンパウロ州の日本語学校に学ぶ十一歳から十七歳までの中学生です。

日本の文化に興味を持ち、市内の中学生らとの交歓、ホームステイなどを通して現代の生きた日本を吸収しようと来市しました。

#### 和やかな歓迎会と ホームステイ

七月十日、中津川市に到着した使節団の一行は、さっそく高砂殿での歓迎昼食会に臨みました。昼食会には、中津川市姉妹都市友好推進協会の役員や団員をお世話下さるホームステイの人達が加わり、大変なごやかに行われました。



③



④

元氣いっぱいのお宅へと向かいました。

#### スポーツ交流

翌十一日は、中津川上流の尾外岩でマス釣りを楽しみ、次々と釣れる魚に歓声が上がりました。そして今釣ったばかりのマスや、五平餅料理を賞味しましたが、五平餅の味は、なかなかなじめないようでした。

午後からは、坂本中学校で行われた市内中学生とのサッカー大会に出場、親善試合を行いました。十五分ずつの四チームと対戦し、熱のこもった本場のサッカーを披露してくれました。

七月十二日は早やお別れの日です。中津川駅において多数の市民が見送る中で鈴木団長から「どうか皆さんも両国の友好親善促進のためブラジルへ来て下さい。」とあいさつがありました。

一行はお世話になったホストファミリーや関係者と別れを惜しみながらまたの再会を約束して、各地での親善交流の後、八月二十六日無事帰伯しました。

### 小林市長に伯国最高勲章

小林房吉中津川市長に、社会統合教育会パスコアブラジル国政府公認最高勲章の「グラン・クルス」が、同国に尽力した功績によるもので、グラン・クルスは、小池保前市長や一昨年、ブラジルで大相撲を興行した二子山勝治協会の理事長らにも贈られていました。



伝達は、ブラジル・ゲートボール全国大会に出場し帰国した上田晋さんからなされました。

### 中津川GBチーム 伯国遠征



さらに友好を深めた親善試合



歓待を受けるチームの一行

川チームが参加したもので、一行は、全伯大会に出場した後、市の姉妹都市レジストロなどの愛好者と交歓試合を重ね、さらに友好を深めて、二十七日帰国しました。

【選手の皆

第三回全ブラジルゲートボール選手権大会(ブラジルゲートボール連合会主催)に招待された中津川チーム七人の一行は、小林中津川市長の「こうした相互の訪問により両国の親善がさらに深まり、

ますように」という親書を携え、七月十七日成田空港から出発しました。この大会は、ブラジルゲートボール連合会の創立十周年を記念して、世界各国の愛好者を招待して開かれ、日本からは中津川唯一(落合)

監督 上田晋(落合) 監督 原岩男(太田町) 主将 野村久一(桃山町) 選手 筑間治(昭和町) 大山滋(落合) 藤原勇(松田) 井口



# 受講生100人超す盛況ぞ

## ブラジルに親しむ会講座

姉妹都市友好推進協会 この講座は今回で九回では、昨年十一月十四日から十二月十九日までの間に、六回にわたり「ブラジルに親しむ会講座」を開催しました。



▲ブラジル料理を囲んで楽しい語らい



▲熱心な受講生のみなさん



▲楽しいパーティー

この講座は今回で九回となり、受講生も百余人を数えました。中には第一回から毎年連続して受講している方もみえ、大変盛況な講座となりました。

講師は東京在住の日系二世・三浦マリエさんで、第二回の講座から講師を引き受けていただいています。先生は、エーゼットサポート社を設立し、翻訳、通訳を始め雇用相談業務など幅広く活躍をされています。

講座は、やさしいポルトガル語会話のほか、ブラジルの生活、歴史、歌、料理などの講座があり、受講生は熱心に聞いていました。

最終日は、市内に住むブラジル人家族や、ブラジルに長期滞在中のいた上田七郎さんなども参加し、ブラジル料理を囲んで楽しいクリスマスパーティーとなりました。

当日の料理は、先生の指導により料理を作ろうと早くから皆さんが準備されました。フエイジョアードなどおいしいブラジル料理が、盛沢山会場に並び、ピンガを飲みながらビンゴゲームに興じ、和気あいあいのうちに閉講となりました。

### 日本の国際化について 三浦マリエ (東京在住)



講義する三浦先生

ブラジルに親しむ会講座の三浦マリエ先生から、標題の一文が寄せられましたので、ご紹介いたします。

最近、日本各地の町や職場で多くの外国人、特に東南アジアの人々、イラン人、日系のブラジル人、ペルー人を見かける。日本は明らかに国際化して受け入れることがで

きないでいる。さらには、世界に誇る安全大国といわれているこの日本の治安が悪くなるのではないかと、彼等日本人としては習慣や精神構造が違う、彼等はルールを守ってくれない、何となく怖い感じがするといった理由から不安感を抱き、彼等に冷たい眼差しを向けてしまうこともある。

一方、本当の意味での優しさを知らない日本人は、彼等に同情し、優しいすぎるくらいの親切な態度で接するのである。いずれの接し方も一個の人間として認めていないでしようか。

この滞在期間の中で移民の子として差別を受けたこともあるが、その一方で同じ人間として受けとめてくれる人達とも出会っている。

外国人と接することに慣れない日本人にとっ

### 隅田さんに勲五等

レジストロ市姉妹都市友好推進協会会長の隅田弘さんが、秋の叙勲で勲五等双光旭日章を受章されました。

隅田さんは、レジストロ市の日吉ストロ市の日吉ストロ市のご後援により、叙勲の栄に浴し嬉しく思います。」

章は、在留邦人に対する福祉向上の功績が認められたものです。隅田さんから「不況が嵐のようにブラジルを襲い、史上に見えない失業と貧窮ですが、政府をはじめ国民は何とかして困難や社会危機を乗り越えてきました。我々も頑張るつもりです。また皆さんに感謝いたします。」



▲日本領事館での記念撮影(左から2番目が隅田さん)

### 木下君の体験実習

第14回農業高校生ブラジル実習派遣団の一員として、恵那農業高校の木下貴光君(駒場)が、昨年の七月十七日から八月十四日の二十九日間、ブラジルで農業の体験実習を行いました。

研修をしてきました。木下君は、イタペチーニャの伊藤勉さん宅で農業実習を行い、伊藤さんの桃栽培にける情熱に深い感銘を受けました。

そして、山田県人会長さんをはじめ農家の人達の親切さや、体験できないうブラジルの結婚披露宴にのぞいたり、日本では体験できないブラジルの結婚披露宴にのぞいたり、多くの有意義な体験ができましたと話していました。



### 中津川ファミネットの設立

市内の企業に働く外国人の方々と、市民とのコミュニケーションを高め、相互理解を深めるために、本年四月、中津川ファミネットが設立されました。

この組織は、姉妹都市友好推進協会、雇用問題研究会、サッカー協会、体育協会、青年会議所などが中心となって設立したものです。

今年、市制四十周年記念国際交流会として事業を計画し、多くの市民の方々のご参加をお待ちしています。

### ブラジル人のよき相談相手

#### 在伯経験の上田さん

中津川雇用問題研究会(酒井久一会長)では、日系外国人の雇用の安定と、トラブル防止のため、上田七郎氏(五九)に中津川市えびす町Eを採用年帰国しました。多忙な毎日のなかで、日系人子供の勉強の復習や、病気の親身になって世話し、「心と心が通じあえるよう心掛けています」と話されています。



上田七郎氏(五九)は、中津川市えびす町Eを採用年帰国しました。多忙な毎日のなかで、日系人子供の勉強の復習や、病気の親身になって世話し、「心と心が通じあえるよう心掛けています」と話されています。

### 平成4年度の会員募集中

中津川市姉妹都市友好推進協会では、ただいま会員を募集しています。

実施事業

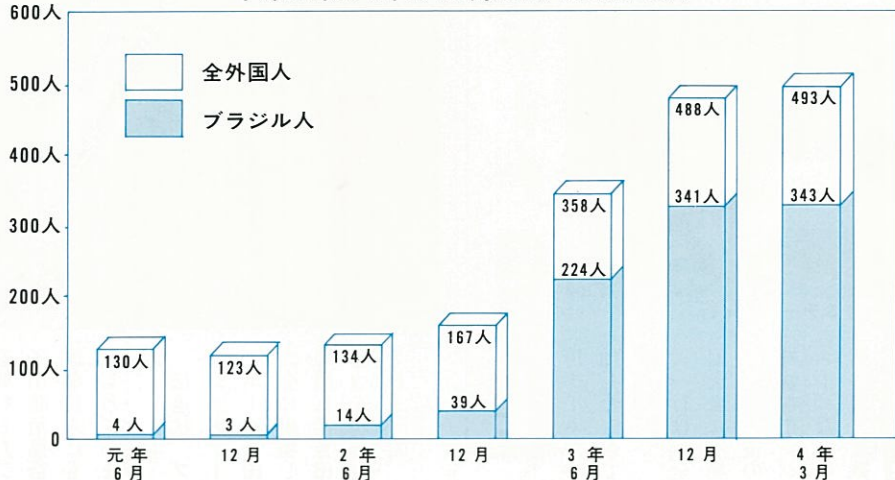
- (一) サッカー大会▽日時 六月七日 九時半から
- ▽場所 会所沢市宮グラウンド
- ▽募集要項 市内在住の日本人及び外国人で十五才以上の方、はがき申込 先着百二十名
- (二) 国際交流パーティー▽

中津川市姉妹都市友好推進協会では、ただいま会員を募集しています。

この協会の活動を盛り上げるため、一人一人の力を発揮していただくよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

66-1111 内線306

中津川市の外国人登録者数(各月末現在)



### 中津川の伯国人

市内企業で働く日系ブラジル人の方々が、大変多くなりました。平成四年三月末では外国人登録者数四百九十三人の内、約七十%を占めています。また他の外国人の内訳は、韓国五百五人、フィリピン二十人、中国、ペルー各七人、タイ四人、米